

熊本県の観光・レジャーに関するアンケート(2020年11月調査)

「熊本県の観光・レジャーに関するアンケート(2020年11月調査)」を実施した結果を公表いたします。本アンケートは、県内の観光・レジャーの動向をいち早く捉えるために実施しております。
(回収期間:11月20日～11月30日 発送数:274、回収数:86、回収率:31.4%)

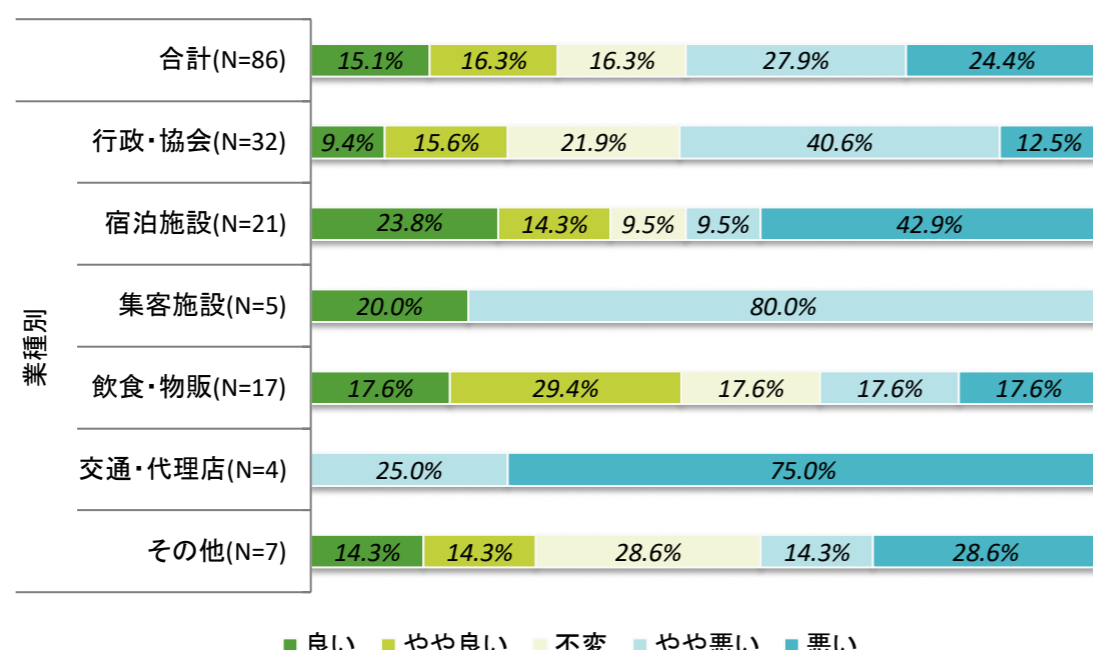
1. 熊本県観光DI まとめ

	熊本県観光DI (9～11月)	熊本県観光見通しDI (12～2月)
合計(N=86)	42.4	32.6
行政・協会(N=32)	42.2	33.6
宿泊施設(N=21)	41.7	33.3
集客施設(N=5)	40.0	25.0
飲食・物販(N=17)	52.9	17.2
交通・代理店(N=4)	6.3	62.5
その他(N=7)	42.9	42.9

9～11月の熊本県の現状判断DIは、42.4となった。また、見通しDIは32.6となった。DIが50を超えた場合、景気が上向いていることを示す。Go Toトラベルキャンペーンの恩恵を受けた事業者が見られるものの、新型コロナウイルスの感染拡大前の水準には戻っていない事業者も多い。公共交通や貸切バスの需要が回復せず、「交通・代理店」では6.3と最も低くなっている。

※DIとは
同調査におけるDI(ディフュージョン・インデック)は、現在の景況感、現在と比べた3ヶ月後の景況感見通しに対する5段階の判断に、それぞれ点数を与え、これらの回答区分の構成比(%)を乗じたものである。
(良い…+1、やや良い…+0.75、変わらない…+0.5、やや悪い…+0.25、悪い…0)。

2. 9～11月期の動向、景況感

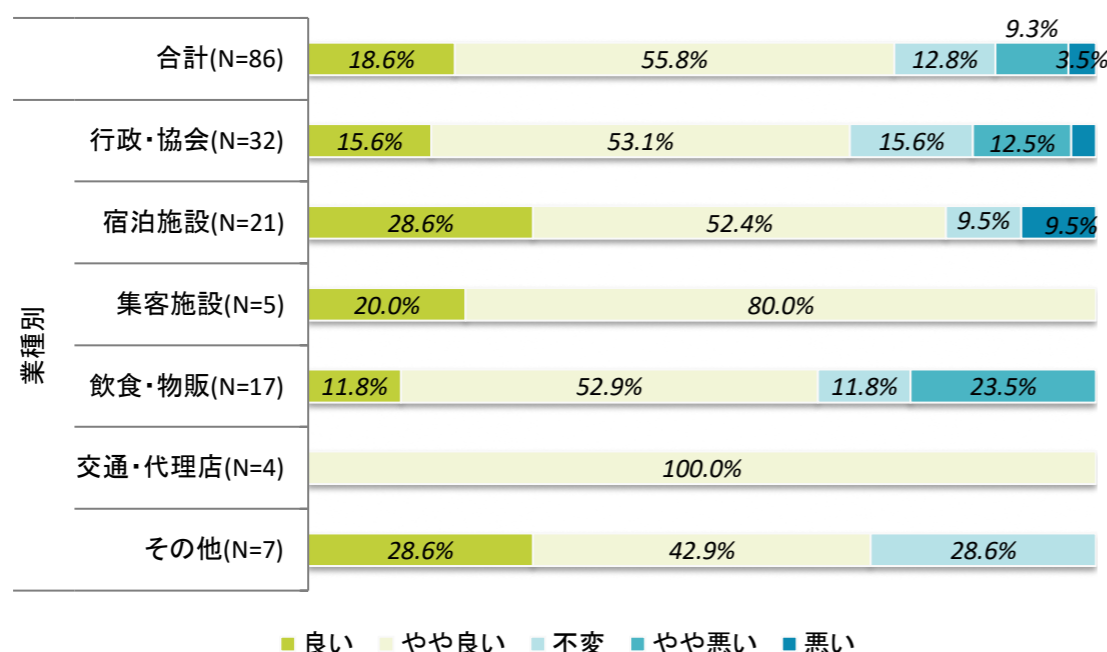


9～11月の景況感は、「良い」と「やや良い」の合計は31.4%、「悪い」と「やや悪い」の合計は52.3%となっている。飲食・物販では、地域共通クーポンの活用が見られる。

【コメントの抜粋】

- 良い
宿泊施設が空いていない。(行政・協会、阿蘇地域)
- やや良い
GO Toトラベルで観光客が増えた。クーポンの利用が売上の約1割程度を占めたため。(飲食・物販、阿蘇地域)
- やや悪い
近隣自治体でのクラスター発生等による新型コロナウイルス感染症の拡大が影響した。(行政・協会、県北地域)
- 悪い
7月豪雨災害で被災し、休業しているため。(宿泊施設)

3. 6～8月期に比べた9～11月の動向、景況感

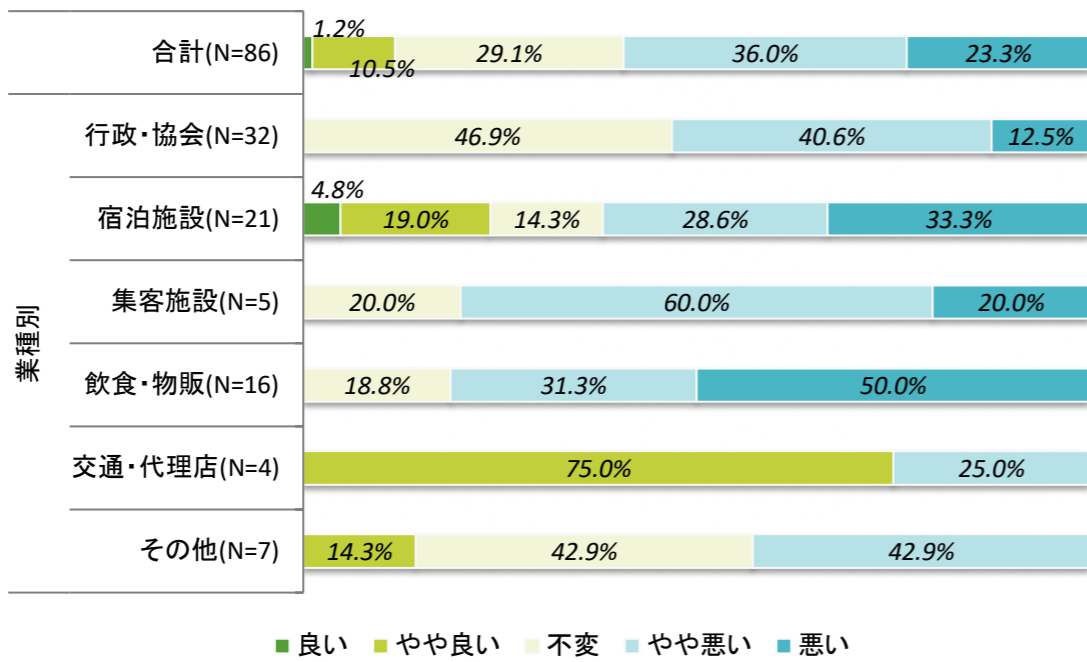


6～8月期に比べた9～11月の動向、景況感は、「良い」と「やや良い」の合計は74.4%、「悪い」と「やや悪い」の合計は12.8%となっている。全国的に新型コロナウイルスの新規感染者が6～8月より減少し、Go Toトラベルキャンペーンの効果が現れている。

【コメントの抜粋】

- 良い
集客全体の数字がかなり回復している。特に国内個人客に関しては前年比2倍近い数字になっている。(その他、天草地域)
- やや良い
10月の国道57号北側復旧ルート及び現道部の開通やGoToキャンペーンの実施により、観光客の増加につながっている。(行政・協会、阿蘇地域)
- やや悪い
寒くなってCOVID19の流行拡大を恐れる地域住民の意識から来店数が減った。(飲食・物販、阿蘇地域)

4. 今後、2021年2月までの業況の見通し



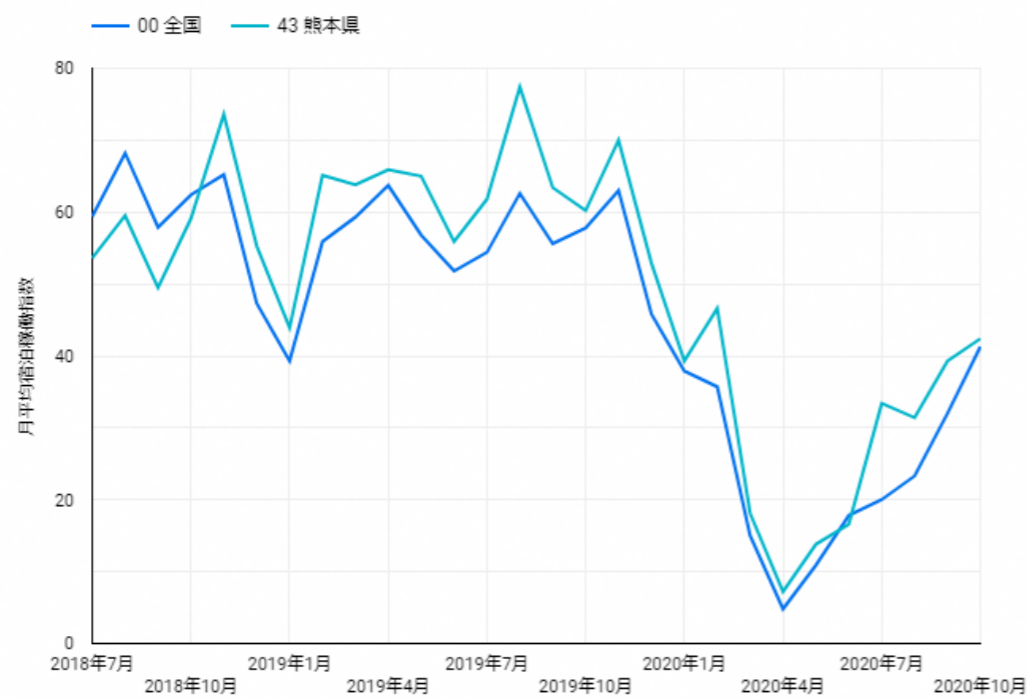
9～11月の景況感は、「良い」と「やや良い」の合計は11.6%、「悪い」と「やや悪い」の合計は59.3%となっている。全国的に新型コロナウイルスの新規感染者が6～8月より減少し、Go Toトラベルキャンペーンの効果と見られる。

【コメントの抜粋】

- やや良い
感染再拡大という一時的な需要押し下げ要素はあるものの、基本的には回復傾向であり次年度に向けてお客さまの数は徐々に増えていくと考えている。(交通・代理店)
- 不変
感染拡大を踏まえると、まだ未知数である。(飲食・物販、阿蘇地域)
- やや悪い
新型コロナウイルス第3波の流行の兆し。飲食店が苦しい。(行政・協会)
- 悪い
これからコロナの影響も予想され、休業も視野に入れているため。(飲食・物販、阿蘇地域)

5. 宿泊稼働指数の動向

① 月次別

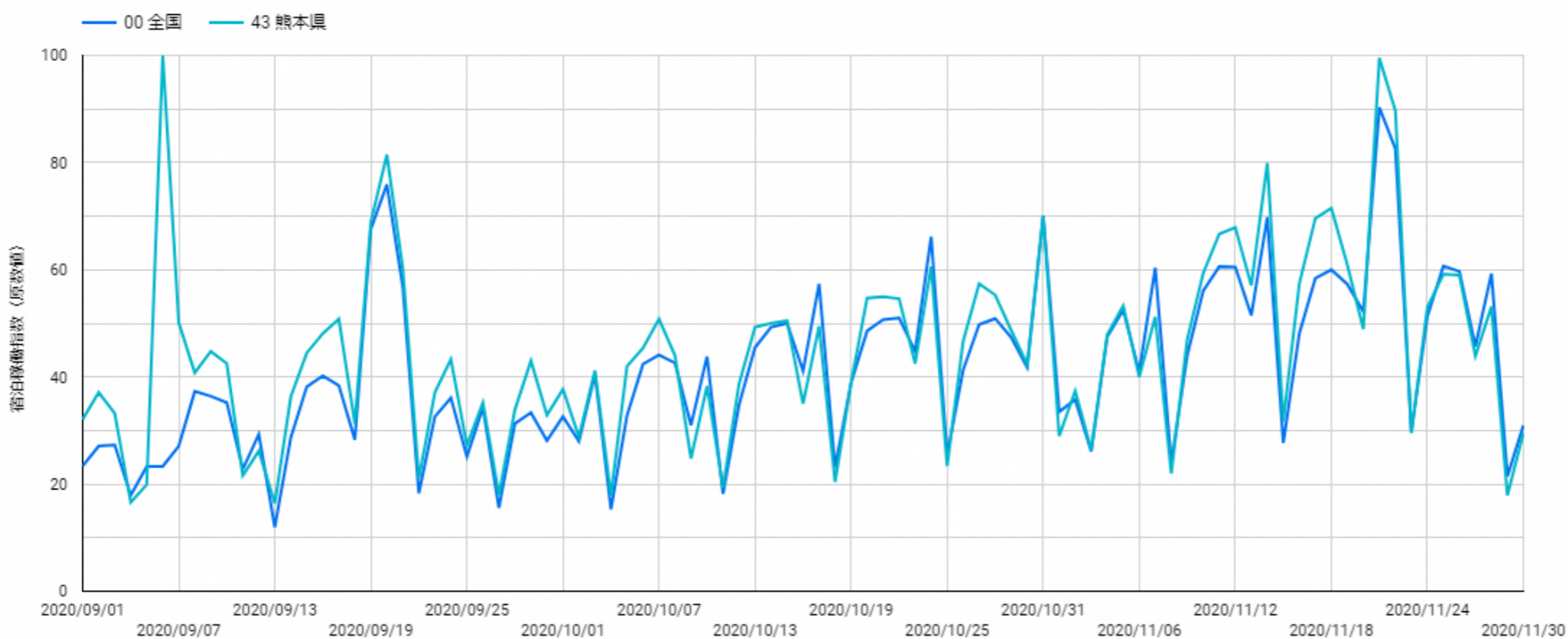


2020年10月における熊本県の宿泊稼働指数は42.4となり、前月の39.3より3.1pt高い水準となった。2020年8月から2カ月連続で改善している。前年差は▲17.8ptと、2020年2月以降で低下幅が最も小さくなった。福岡県などの感染状況が落ち着いていたことで、稼働の回復トレンドが続いた。

※宿泊稼働指数とは

宿泊稼働指数は日次の空室の水準を指数化したもので、九経調が独自に推計。原数値は0から100の間の数値をとり、稼働状況が良い場合は100に、稼働状況が悪い場合は0に近づく。
 なお、本稿における宿泊稼働指数は、2020年4月に20日以上かつ2020年5月に20日以上空室が提供されている施設のみを対象とし、過去に遡って指数を算出した。
 本稿では、①月次別では、原数値より曜日要因を除いたデータ、②日時別では原数値を使用している。

② 日別



宿泊稼働指数を日時別(現数値)で見ると、台風10号接近した9月6日では、全国23.3に対し、熊本県は100となっている。避難所での「密」を避けるために、宿泊施設に分散避難した人が多くいたと、みられる。
 熊本県では、3連休中の9月20日で81.5(全国75.9)、同じく3連休中の11月21日で99.5(全国90.3)と高い数値を示している。